

「感じ」「動き」「かわる」…田平東小は今年度創立150周年!



さくらの学校だより

平戸市立田平東小学校 学校だより 令和6年9月30日 文責:校長 森川 稔



本物にふれる♪

朝夕の涼しさと日中の汗ばむような暑さが何かアンバランスな感じですが、日ごとに秋の訪れが感じられるようになりました。今週から10月になります。芸術の秋と言われますが、先日は本校にも本物の芸術に触れる機会を与えていただきました。

来年9~11月に本県で第40回国民文化祭が開催されます。スポーツの全国大会である国民体育大会(国体)の文化版がそれにあたります。その啓発と本校児童の情操教育の一つとしてスクールコンサートを開催しました。

今回は県内唯一の室内オーケストラ「長崎 OMURA 室内合奏団」のみなさんに来ていただきました。始まる前から子どもたちはわくわくしています。生の楽器演奏を聴く機会があまりない子どもたちは、オープニングの曲からぐいぐいと音楽の世界に引き込まれています。



曲の合間には、弦楽器や管楽器などそれぞれの楽器について説明していただき、音色の特徴を感じ取っていました。後半は、素敵な計らいで、なんと座席を離れて楽器のすぐそばまで移動して聴かせていただきました。楽器の音色や息遣い、振動など思い思いに音楽を楽しんでいます。最後は東小の校歌もオーケストラ風にアレンジして演奏していただき、全員で元気よく歌いました。本物の芸術に触れることができたとてもすてきな体験でした。



スーパーマーケット見学

各学年とも社会科や生活科、総合の学習において校外学習を行っています。先週は3年生が町内のスーパーマーケットに見学に行きました。スーパーに着くと、お店の店長さんやスタッフのみな

さんがとてもいねいに対応して下さい、普段見ることのできないバックヤードや苦勞されているところや工夫されているところなどを見ることができ、質問タイムでは子どもたちが考えた質問一つ一つにわかりやすくお答えいただきました。おうちの人の買い物についてくるだけではわからないような、食材を中心とした一万点以上の商品の仕入れから陳列、買い物に来ることが困難な方や地域への配慮など、多くのことについて学ぶ機会となり、たくさんメモをとっていました。最後は保護者の方からお願いされたものを自分で見つけて購入するお買い物体験もして充実した学びができました。



「対話」を意識した研究授業

本校は国語科の学習を通して「対話」に重点をおいた学びを進めています。先週は6年生で物語文「きつねの窓」の研究授業を行いました。ICTを活用して、事前に家庭学習で読み取り、タブレット端末に書き込んだ内容をもとに、考えを出し合っています。6年生にとっては、半年後の中学校進学を見据えて、さらに自分たちの考えを出す場面をたくさん経験させていきたいと考えています。



順調にカウントダウン

11月10日の記念式典に向けて2学期から始まったカウントダウンボードですが、毎朝担当学年、学級の子がパネルの入れ替えをしてくれて、学習発表会を兼ねた本番に向けて少しずつ機運が高まっています。本日(30日)時点で本番まで「41日」です。学習発表会に向けた取組も少しずつ始まってきています。



田平東小HPはこちらから→

